



高校生の目が切り取る舞鶴の姿

この冊子を手にとったみなさまへ

この冊子は、京都府立東舞鶴高等学校の3年生24名がみなさんに届ける「彼ら・彼女らから見た舞鶴」です。

ガイドブックに掲載されているような観光スポットではなく、舞鶴で生まれ育った高校生が切り取る舞鶴の姿を紹介します。

私にとって、はじめて訪れた舞鶴は、赤れんがパークから見る水平線のない海と、軍港の名残を感じる力強いグレーの護衛艦、戦後の引き揚げの歴史から知った人々のつらい記憶など、晴天の気持ちいい空の青さのわりに、どんよりした気持ちになった記憶があります。

何度か来るうちに、舞鶴市内の道を覚え、人と知り合い、帰路につくとき決まって同じコンビニでコーヒーを買うようになり、徐々に愛着を持つようになりました。

地域を印象付けるものとは、果たして何なのでしょう？

私は、そこに物語があるとき、場所やモノへの印象は無限に可能性を生むのだと思います。

高校生たちの物語をぜひ手に取って見てみてください。

プログラム統括／企画制作・運営

朴 鈴子

目次

この冊子を手にとったみなさまへ	-----	02
新しい目を着て舞鶴を切り取るレッスン	-----	04
グループ1：#MAIZURUIINE	-----	05
グループ2：チームゆいーん	-----	13
グループ3：Cチーム	-----	21
取材地をめぐるスタンプラリー	-----	29
講師のみなさん	-----	30

京都 :Re-Search 実行委員会について



地域の人々が主体となって文化芸術活動に関わる環境づくりを促進するとともに、地域の持つポテンシャル、魅力をアートの視点から引き出すことにより、交流人口の拡大、地域の活性化に寄与することを目的に事業を実施する、京都府や市町村等で構成する団体。

ホームページ KYOTOHOOP <https://kyotohoop.jp/>

新しい目を着て舞鶴を切り取るレッスン

この冊子は、2024年秋、京都府立東舞鶴高等学校3年生の未来探究コースにおける選択科目「クリエイション芸術」の授業内で実施したプログラム「地域とアートが呼応する～5年後のみんなに届ける人材育成講座～」(京都:Re-Search 実行委員会主催)の成果物です。

本プログラムは、歴史文化遺産に恵まれた舞鶴市特有のユニークな資源を、アートを介して地域の内外に深く広く普及していくことを目指して、アートマネジメント人材を育成するためのプログラムとして企画されました。

全5回のプログラムのうち、第1回と第2回は、アーティストや地域デザインの研究者、地元デザイン会社の代表者が講師となり、インプットとアウトプット、両方において高校生たちが持つべき視野と視点について講義をおこないました。一般にも公開して実施したことで、高校生と市民がディスカッションをする場面も設け、広い視野での学びを目指しました。

第3回からは、前回までの講義を経た高校生の実践的な取り組みが始まり、冊子制作に向けて取材、テキスト執筆、素材集めを行いました。今回の冊子制作は、学内での活動にとどまらない広範囲での配布になることから、彼ら・彼女らの思考や掲載する情報への責任が求められる挑戦でもありました。

最終回では、彼ら・彼女らが頭の中で想像した冊子のイメージが、プロのグラフィックデザイナーによって仮のかたち(レイアウト)となり感動を覚えながらも、印刷物の制作工程に欠かせない「校正」にも関わり、紙媒体の情報を発信する手順についても学びました。

- 第1回 アートって何? 「アート」を再定義する (講師: 山本麻紀子)
- 第2回-1 地域の何が魅力になりうるのか? 新しい「目」を着る (講師: 石川琢也)
- 第2回-2 冊子で何を表現できる? (講師: 金田研人)
- 第3回 街歩きと取材 (講師: 石川琢也)
- 第4回 表現の構築とブラッシュアップ (講師: 山本麻紀子)
- 第5回 校正とレビュー (プログラム統括: 朴鈴子)



ここからは高校生の表現をお楽しみください。

Touch the “Colors of MAIZURU” in Maizuru Red Brick Park

「舞鶴の色彩」に触れる
in 舞鶴赤れんがパーク

<Red color group> - 赤系統色 -



食べ物に例えるなら採れたてのにんじんみたい。
他には何に見えるかなあ？
It looks like a freshly picked carrot. What else
does it look like?



滑らかでマットな色。
触ってみたいくなる！
Smooth and matte color.
I want to touch it!



これも食べ物に例えるなら
クランチチョコみたい！
It looks like crunchy chocolate!



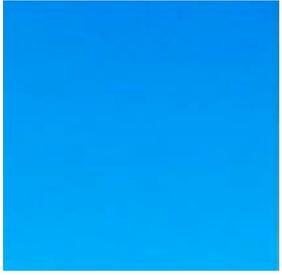
豆知識コーナー Trivia Corner



昔はこのレールを使って倉庫から
物を運んでいたらしい！5号棟内
には今でもレールが残っている。

These rails were used to transport
goods from the warehouse in the
past!
The tracks can still be seen in the
Building No.5.

<Blue color group> - 青系統色 -



青春の色！眩しいなあ。

The color represents youth! It's dazzling.

豆知識コーナー Trivia Corner

ここだけ焼き方が違ってツヤツヤしているから、見る角度によって色の感じ方が変わる。

This part is kilned differently and has a glossy finish, so the color looks different depending on the angle you look at it from.



2024年10月撮影

#MAIZURUINE チーム



キラキラしてる。
心が浄化される気分。

Sparkling.

I feel like my heart is purified.

侘しさをを感じるなあ。

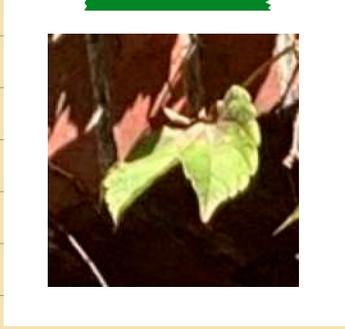
周りの建物とマッチしていい雰囲気。

I feel so lonely.

I think it matches the surrounding buildings.



<Green color group> - 緑系統色 -



毎日日差しを遮ってくれているので
ちょっと疲れているように感じる。
It looks tired, because it blocks the sunlight every day.



深い緑が吸い込まれる色で
魅力的!
The deep green color is
very attractive!



#MAIZURUINE チーム

豆知識コーナー Trivia Corner



スタンプラリーの起源をたどると
室町時代(600年前)から
あるらしい! 集めるの楽しいな~

The origin of stamp rally has been around
since the Muromachi period (600 years ago)!



レンガの色合いは一つひとつ違って
錆びた感じも味があっていい!
Each brick has a different color and
the rusty look is really appealing!



#MAIZURUIINE さいごに

最後までご覧いただきありがとうございました！
 私たちなりに赤レンガパークの色に着目してみて
 感じた事を書いてみました。
 これはあくまで私たちの主観であって私たちとは
 違う感じ方をされたかもしれません。
 皆さんはどう感じましたか？
 少しでも色に興味を持っていただけたら嬉しく思
 います。
 グループ一同

Thank you for reading through to the end!
 These are just our subjective opinions, and you
 may feel differently than we do.
 How did you feel?
 We focused on the colors in the Red Brick Park
 and wrote about what we felt.
 We will be happy if you are even a little
 interested in color.
 From all the group



子一ムゆい〜ん

舞鶴・引揚記念館から学ぶ

フ
ア
ツ
シ
ヨ
ン
の
む
か
し
と
い
ま

ロシア帽

むかし

PAST



舞鶴引揚記念館にて撮影

使われ始めた由来

航空パイロットが操縦時に着用していたことが、「フライトキャップ」の由来である。

呼ばれ方

- ・ フライトキャップ
- ・ ボンバーハット
- ・ トランプパーハット
- ・ 飛行帽
- ・ ウシャンカ
- ・ トルーバーハット

引用：ウェブサイト「hinata」内、「【今日のキャンプ用語辞典】今さら聞けない「フライトキャップ」とは？」より

ロシア帽

いま

PRESENT



人気がある理由

今では形や色、模様が異なったものもある。
フライトキャップは保温性と防寒性が高いため、寒さ対策ができる。

使われ方

ファー素材が耳や顔まで覆うので、一般的な帽子より暖かく防寒具やオシヤレとして使われている。

引用：ウェブサイト「my best」内、「フライトキャップのおすすめ人気ランキング【2024年】」より

軍服・迷彩柄

むかし

PAST



舞鶴引揚記念館にて撮影

昔の使われ方

敵味方や非戦闘員との識別、軍隊の団結を象徴することなどを目的に、共通互換性、機能性、耐久性を重視して作られていた。

いつから

日本では、一八七二年に海軍が水兵の制服を採用したところから使用されている。シベリア抑留の際には、日本軍の外套が寒さを防ぐために使われていた。

引用：ウェブサイト「日本大百科全書」内、「軍服」より

軍服・迷彩柄

いま

PRESENT



迷彩柄が使われている物

- ・ Tシャツ
- ・ カーゴパンツ
- ・ キャップ
- ・ アウター
- ・ スカート
- ・ スカーフ
- ・ バンダナ
- ・ スマホケース
- ・ カバン など

使われるようになった時期

現在人気の迷彩柄は、元々軍用品に使われていたが、一九一四年ごろ、パリのファッションデザイナーが婦人服に取り入れたことで、ファッション柄として認知され、当時はモダニティの象徴となっていた。現代にもその精神が受け継がれている…？

引用：ウェブサイト「A Bathing Ape」内、「BAPE@CAMO HISTORY～1st CAMOの誕生～」より

制服

むかし

PAST



一九七〇年代後半からロングスカートが流行した。女子高校生の制服のスカートも一九八〇年代には一部の生徒を中心にものすごく長いものが着用され、それが「カッコいい」とされていた。



1987年京都府立東舞鶴高等学校 卒業アルバムより

～チームゆい～ん～

制服

いま

PRESENT



一九九〇年代中頃から丈の短いスカートが流行した。スカートの丈が短いほど「かわいい」と認識が変化し、制服のスカートを短く丈詰めしたり、ウエスト部分で折ったりしている。

画像は2014年に新しくなった京都府立東舞鶴高等学校の制服

～チームゆい～ん～

W文化財

2つの文化財を
より楽しく巡るための視点

こまづのおでら
こんごういんら



チームゆい〜ん

Summary

引き揚げについて

一九四五年に第二次世界大戦が終結し、旧満州や朝鮮半島をはじめ南太平洋など多くの国や地域に約六六〇万人もの日本人が取り残された。こうした方々を日本に速やかに帰国させるために、引揚事業が開始された。引揚港のうち舞鶴は、国内で唯一、十三年間にわたって引揚者・復員兵を迎え入れ、その人数は約六六万人にのぼる。

活動内容

舞鶴引揚記念館に行き、見て感じたことを現代のファッションと結びつけ、昔と今で比べた。

活動してみてわかったこと

昔と今を比べてみて、使われ方がとても変わってきていると思った。今は、オシャレとして使われており、日常で使える物になっていることが分かった。

引用：ウェブサイト「舞鶴引揚記念館」内、「舞鶴引揚記念館について」より

ざつえい 撮影スポット

目印の位置に立って写真を撮ってみよう



撮影ポイント！
この建物の左側に体を向けて
足をひらいて撮ってみて！！



川に沿って歩いていくと
三重塔が綺麗に見えるよ！

撮影ポイント！
21ページの写真を撮る方法。
階段を上まで登って何段か教えてみよう。
半分くらいの所で撮影スタート。



このマップをみて
探検をはじめよう！

じゅれいせんねん す き 樹齡千年リスの住む木！

かやの木について

金剛院のかやの木は平安時代からある長寿の木！

固いので昔は仏像をつくるのに使われたんだよ。すんっと高い背は、金剛院を見渡しているようで、見ているだけで特別なパワーが感じられるよ。

なんとかやの木の上にはリスが住んでいるんだ！時々リスが地上に降りてくるみたいだよ。

いちぼくづく 一本造りについて

なんと金剛院本堂の龍の彫刻は一本のけやきの木でできているよ。
繋ぎ合わせたりしていないから、色味の違いなどもなくより迫力があるよ！

豆知識

本堂にはけやきの木で造られた象の彫刻が左右にあるのだけれど、二体とも階段側から見える象の目は彫られていなくて、本堂側だけ彫られているよ。お参りをして帰るときに上を見ると象と目が合うようになっているんだよ。実際に行って確かめてみてね。

まつのおでら
松尾寺

大師堂



大師堂の中にある御本尊は馬頭観音菩薩で、頭の上の「白馬頭」が特徴だよ。また、「交通安全の仏様」、「動物界の守護仏」として信じられているよ。



子育て地蔵尊

子授けの仏様として知られているよ。また、「地蔵尊」は地蔵さんを尊敬した敬称だよ。

経蔵



手水舎



かたち
どんな形？

さわ
触ってみた？

にお
どんな匂い

おも
だと思う？



じっさい さが
実際に探して

みたくなった？

苔
in
金剛院

こけ うえ ね
この苔の上で寝たら

なんじかん ね
何時間くらい寝られ

そう？

だれ に
誰に似てる？

たとえるなら

なに に
何に似てる？

こけ なんさい
この苔は何歳かな？



松尾寺周辺のあちこちに
「目」をつけてみる。
今まで見えてこなかったものが
見えてくるかも。



いろいろな場所に
「目」を
つけてみると…?



見えたものを書いてみよう

Four horizontal dashed lines for writing.

かんそうしゅう
みんなの感想集

目を凝らして見ないと気づかないような魅力や、自然の中で生きている植物、動物にも気づくことができ、素敵な時間を過ごせました。みなさんも普段とは違う視点から見て、金剛院・松尾寺を楽しんでください！

私は主に苔に注目しました。普段は気にしない苔に注目するといろんな形、色に見えて楽しかったです！金剛院と苔の相性は神秘的で素敵ですよ！ぜひ金剛院に行ってみてください！

歴史ある建物を真近で見舞鶴には素敵なものがあるなと改めて思いました。昔の人によって築き上げられてきたものを感じることができて良い体験になりました。

金剛院は自然がたくさんでどこを見渡しても木や歴史的建造物があるので実際に行ってみてください！

金剛院に何度も来ていますが、それでも知らない知識を学ぶことができました！写真を撮るのが好きな方はぜひ秋の紅葉が色づく頃に訪れてみてください！とても綺麗ですよ！このパンフレットを持って、金剛院と松尾寺へ行ってみてください！

自然の中にある金剛院・松尾寺は実際に見ることで歴史を感じることができます！特に秋と冬は、紅葉と雪景色のお寺を見ることができるのでぜひこのマップをもって行ってみてください！

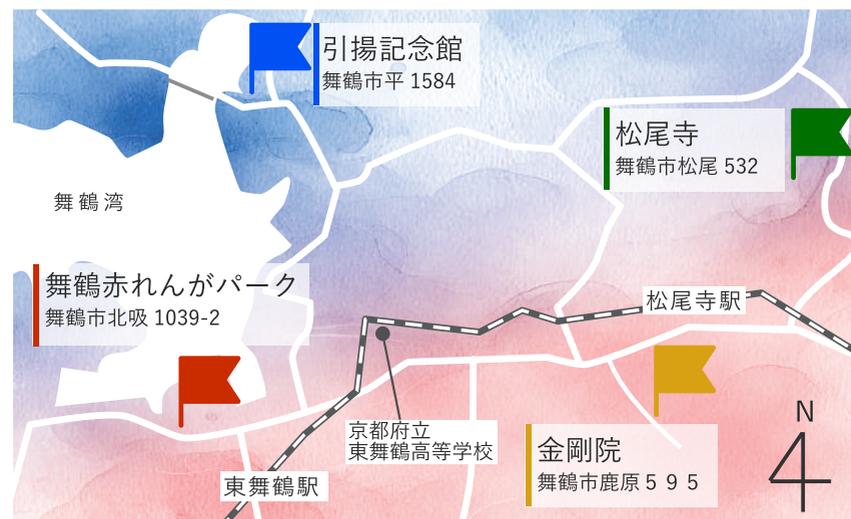
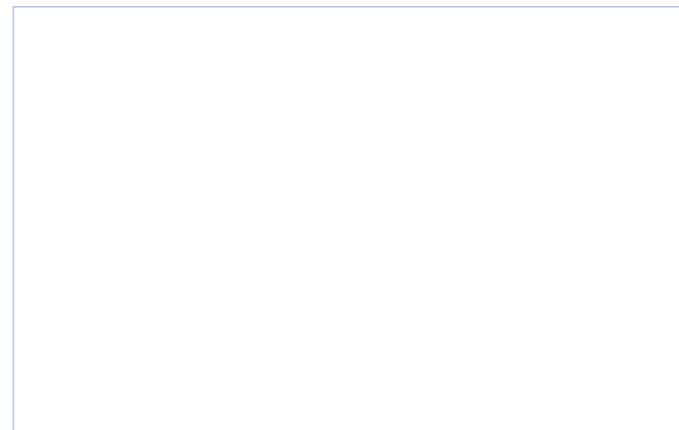
金剛院では自然豊かな景色に囲まれて、凄く綺麗な景色を撮ることができます！また、松尾寺では多くの歴史的建造物を見ることができるのでぜひ行ってみてください！

金剛院と松尾寺は、歴史ある建築物が自然に囲まれていて、季節ごとに違った景色を楽しむことができます！ぜひ現地に行ってみてください！

取材地をめぐるスタンプラリー

今回高校生たちが紹介した場所にスタンプを設置してあります。全4か所のスタンプを重ねて捺してみると1つの絵が浮かび上がってきます。

下記のマップを参考に舞鶴の街を散策し、高校生たちの目が切り取った景色を体感してみてください。





やまもと まきこ
山本 麻紀子 [第1回・第4回]

講師／アーティスト

1979年京都市生まれ。京都市立芸術大学大学院絵画専攻構想設計修了。ある特定の場所について観察や考察を続け、常識や習慣など日常の中で見過ごされている事柄や疑問を糸口にして、その場に関わる人たちとのコミュニケーションの在り方について考えるプロジェクトを行う。その一連の過程を、絵、写真、映像、染め、刺繍など様々な形式で作品制作を行っている。



かねだ けんと
金田 研人 [第2回]

講師／合同会社 VONTEN CEO

合同会社 VONTEN 代表。京都市内にて内装設計等の仕事に携わった後、生まれ育った舞鶴市にUターン。2023年にデザイン・プロデュース会社「合同会社 VONTEN」を設立。国の重要文化財でもある「舞鶴赤れんが倉庫」内に拠点を構える。「舞鶴から世界に」をミッションに空間デザインを軸にししながら様々なデザインを手掛け、現在は映画の舞台美術やクリエイターによるギルド型組織の構築・ディレクション等を活動の幅を広げている。

いしかわ たくや
石川 琢也 [第2回・第3回]

講師／研究者・エクスペリエンスデザイナー・ディレクター

京都芸術大学専任講師。UI・UXデザインを職務とした後、2013年に情報科学芸術大学院大学(IAMAS)に進学。2016年山口情報芸術センター[YCAM]エドキュレーターに着任し、教育・地域プログラム、音楽プログラムの企画制作を担当。2020年より現職。音楽イベント、アート制作のディレクション、クラブカルチャーの文化史・コモンズ研究を行う。共著に「新世代エディターズファイル 越境する編集-デジタルからコミュニティ、行政まで」(2021年刊、ビー・エヌ・エヌ発行)。



ぱくりょんじゃ
朴 鈴子 [全5回]

プログラム統括／株式会社 Office PARK 副代表

米国にて博物館教育学修士課程修了後、2010年に京都国立近代美術館の教育普及担当に着任。学校教育における鑑賞学習の支援や展覧会に合わせたワークショップの企画などをおこなうほか、世代間交流や教科横断学習といった、多様な文脈で美術館と関わることができるプラットフォームの形成を模索。2015年より山口情報芸術センター[YCAM]のエドキュレーターに着任。地元の学校との連携事業を中心に、パブリック・プログラムの企画制作など教育普及事業全般を担当。2019年より独立し、2021年に夫と共に株式会社 Office PARK を設立。スポーツやアートに関わる多様なプロジェクトの企画制作、運営までおこなっている。



令和6年度京都府地域プログラム—中丹

地域とアートが呼応する 5年後のみんなに届ける人材育成講座

主催 | 京都:Re-Search 実行委員会 (京都府、舞鶴市ほか)

企画制作・運営 | 朴鈴子 (株式会社 Office PARK)

記事・写真 | 京都府立東舞鶴高等学校 3年生 (未来探究コース「クリエイション芸術」選択者)

冊子デザイン | 合同会社 VONTEN

取材協力 | 舞鶴赤れんがパーク、舞鶴引揚記念館、松尾寺、金剛院

助成 | 令和6年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業

発行 | 2024年12月

